

# ENJOY LIFE 9月号 Vol.53

みなさま～コンニチワ♪ 今年はほんと暑いですよ～（；°△°） 酷暑はいつまで続くのやら。。。熱中症患者数も例年に比べ非常に多いみたいですね。どのくらいの人数なのか消防庁の熱中症情報サイトに公表されている人数を調べてみました。（4月1日～8月10日）

熱中症による搬送人員数	(症状別／単位:人)					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	総合計
	10	37	1160	4062	3	5272

ざっとこれだけの人数が、大阪で緊急搬送されていました。大半が軽症～中等症ですが中には死亡に至ってしまうこともあります。近年最も注目されている病気でもあります。今年は本当に異常気象ですね。各地方で集中ゲリラ豪雨に見舞われたり、そのほか先月の台風12号では小笠原諸島を通過した後に西側へ進行するという、いつもと違った動き方をしたりで地球に異変が起きているのかな?と思われています。そしてウェザーニュースなんかを聞いていると、天気予報士がちょくちょくと台風の通称(名前)を言っていたりしますが、台風の名前って必要なの?と疑問に感じたことがありませんか?誰がいつから何の目的で名前をつけたのか・・・正直不明ですね。今回は台風の名前の由来を調べてみました。

## □インターネットで調べたところ・・・

まずははじめに、世界の国や地域によって異なるのですが、初めて名前が付けられたのは20世紀前半にオーストラリアの天気予報士が順番に「自分の嫌いな政治家の名前を」付けたのが始まりだそうです。その後第二次世界大戦前後からアメリカでは軍の担当者が自分の妻や恋人の名前などを公式に付けていったそうです。現在はハリケーン(アメリカ圏で発生した規模の大きな台風)の命名は米国海洋大気局国立ハリケーンセンターとハワイにある中部太平洋ハリケーンセンターが発生する地域ごとに担当して名前をついているとの事でした。※被害が甚大だったものに関してはリストから削除され永久欠番となるようです♪

## ♪日本で聞く台風の名前はどこでついているのか・・・

日本では通常は気象庁が、毎年1月1日から台風が発生した順番に1号、2号と番号をつけていっているのは皆さんも天気予報などでおなじみですので知っています。アジアにはアジアの台風の名前を付ける組織があって2000年に北西太平洋と南シナ海で発生する台風に関しては日本を含む14カ国から作られている「台風委員会」で付けられていて国際的にも通用するんです。台風委員会で決められる台風の名前はアメリカと同じようにリスト化されており全部で140個あります。それが順番で台風に付けられていきますが、被害が大きかった台風の名前は削除され使われなくなっています(永久欠番的に)そして140個目まで終わるとまた最初に戻る仕組みです。因みに日本が用意した名前はどのようなものがあるのか紹介します。

①てんびん	③うさぎ	⑤かしむり	⑦コップ	⑨トカゲ
②やぎ	④かじき	⑥くじら	⑧コンパス	⑩ハト

以上の

10個

最後に名前を付ける目的ですが台風情報の混同を避ける為と各国の国民の台風に関しての関心度を上げ台風警戒を強化する為という目的があるとの事でした。